

## 特集！ グループホームってどんなところ？

前回に引き続き、さまざまな福祉サービスの中からグループホームを紹介します。

### 『グループホーム』とは？

→障がいのある人が数人（3～6人）で世話人等から生活や健康管理の支援を受けながら共同生活を送る住居（住宅）のことです。

最近アパート型なども増えています。

### 『グループホーム』ってどんなところ？

→各自の個室のほか、入所者が一緒に食事などをするスペースが設けられています。

できることは自分でいながら、世話人や生活支援員に家事の補助やお小遣いの管理などをサポートしてもらいます。

昼間はホームの外の生活介護（デイサービス）や就労支援事業所に行ったり、なかには一般企業で勤務する人もいます。

### 利用するにはどうしたらいいの？

→各市町村の福祉課窓口にご相談下さい。利用するにあたっては受給者証が必要となります。

参考：『障害のある子が受けられる支援のすべて』

監修 社会福祉法人和枝福祉会

### ある利用者的一天

6:30 起床

7:00 朝食  
自由時間



8:30 就労支援事業所による送迎



軽作業に従事



16:30 帰宅  
洗濯・入浴



18:00 夕食  
自由時間



20:30 自室へ

22:00 消灯



### 編集後記

『はあとぴあ』第28号、如何でしたでしょうか？率直な感想をお聞かせ頂けるとありがたいです。食欲の秋を迎えました。美味しいものをしっかり食べて、栄養たっぷり日々の業務に邁進したいと思います！！

上伊那圏域障がい者総合支援センター きらりあ

〒399-4511 上伊那郡南箕輪村 6451-1

TEL: 0265-74-5627 FAX: 0265-74-8661

E-mail: ksc@ar.wakwak.com

相談受付日：月曜日～金曜日

（土日祝祭日、年末年始除く）

受付時間：8時30分～17時15分

相談料：無料

ホームページ <http://park20.wakwak.com/~kiraria/>



上伊那圏域障がい者総合支援センターきらりあ 広報誌

# はあとぴあ

第28号

2021年

10月

発行：(社福)長野県社会福祉事業団 上伊那圏域障がい者総合支援センター

## きらりあ with コロメ



昨年は中止や延期が多かった会議や研修も、今年はオンライン開催が当たり前になりました。



就職者の交流会では Zoom の使い方講座を開催しました。個別面談への利用も始めています。



感染症の専門家による所内研修を実施し、きらりあでの感染症対策を見直しました。



アクリル板の設置やアルコール消毒等の対策を取っています。安心してお越しください。

### 所長挨拶

上伊那圏域障がい者総合支援センターの「きらりあ」という愛称には、「誰もがきらきら輝く街づくりをしていこう」というメッセージが込められおり、私たちが目指す姿の象徴です。誰もが住み慣れた地域で安心してその方らしく暮らせるようにお手伝いをするために活動しています。この愛称にふさわしい支援センターとなるよう職員一同努めて参りますので、引き続き皆さまのご支援ご協力をお願い申し上げます。

## 上伊那圏域地域自立支援協議会

### 令和2年度活動報告と今年度の取り組み

集合での会議がなかなか開催できない昨年度でしたが、参集者を限定したり、オンラインを活用するなど各部会・連絡会で知恵を絞って活動しました。

今年度も変わらぬ状況が続いていますが、今の状況にあったやり方を取り入れながら充実した活動が出来るようにしていきたいと思います。

### 人材育成検討委員会

圏域の相談支援をはじめとする福祉人材の育成を目的に昨年度は一昨年に引き続き「強度行動障がい支援者研修」を実施しました。また、相談支援従事者初任者研修・現任者研修の圏域実地研修を企画・実施しました。

今年度は相談支援従事者研修の圏域実地研修の企画・実施のほか主任相談支援専門員が圏域で活躍できる土壌づくりや研修企画を行っていきます。

### 相談支援専門員連絡会

相談支援専門員連絡会では、昨年度より『相談支援専門員連絡会新聞』を発行しています。連絡会の報告の他にも新規事業所の紹介等も掲載し、「参考になる」とのご意見も頂いております。今後も連絡会終了後に発行していきますので、目を通して頂けたらと思います。また掲載してほしい内容等ありましたら、気軽に声を掛けて下さい。

### 療育等連絡会

昨年度、一昨年度に引き続き、上伊那の8市町村の0～18歳の年代における支援体制についての検討を行っています。各市町村が行っている良い取り組みを共有していくとともに、課題として見えてきている中学校卒業後（義務教育終了後）の支援のつなぎについて、どういった体制が必要か、検討を深めていく予定です。

### 就業支援部会

昨年度は、普通高校等の進路指導に役立ててもらうため『就労支援機関資源表』を作成しました。先生方に地域にさまざまな役割の就労支援機関があることを知ってもらい、在学中から連携して支援体制を構築することが目的です。

また、今年度は『上伊那版就労アセスメント（評価シート）』の見直しを行っています。ご本人の働く力をより把握しやすい形になるよう検討を進めています。

### 重心・要医療的ケア部会

重心・要医療的ケアが必要な児・者が地域で生活するために、医療機関や介護老人保健施設、放課後等デイサービス等の受け入れ機関拡大に向けた活動を行っています。

今年度は、医療的ケア児の放デイ利用が開始になった事業所があり、緊急時の対応について学習会を実施しました。また、こども病院退院後の医療機関や地域との連携を確認し、必要なサービス利用のための事業所拡大に向けて活動します。

### 権利擁護部会

ここ数年間、多くの方の協力を頂きながら編集に取り組んできた『事例集』がようやく完成しました。過去の部会で検討した事例を、初任者が見ても分かりやすいように配慮しながらまとめました。現在13事例が挙げられていますが、随時追加していく予定です。『きらりあ』のホームページにアップされているので、是非とも見てご活用下さい。


















### 精神障がい者等地域生活部会

障がいのある方が、地域で生活をしていくための必要な資源や地域とのつながり作りを進めています。

昨年は、関係機関への個別訪問を行い地域移行・地域定着支援が利用可能なケースや、役割、支援体制等話し合い、互いの状況を知ることができました。今年度は、介護分野への個別訪問や、地域資源の理解を深めていきます。また昨年引き続きピアの方にも協力を頂き、高校への出前講座を行います。

# 今年度きらりあスタッフのご紹介

※Coはコーディネーターの略

	<b>所長</b> 中村 聖子（なかむら まさこ）		<b>庶務</b> 宮脇 亮子（みやわき りょうこ）
○相談支援チーム 障がいのある方が“地域で”、“自分らしく”、“安心して”生活できるよう支援しています。			
	<b>主任相談支援専門員</b> 精神障がい者地域生活支援 Co 自立支援協議会 Co 藤原 香澄（ふじわら かすみ）		<b>主任相談支援専門員</b> 自立支援協議会 Co 志賀 裕美子（しが ゆみこ）
	<b>相談支援専門員</b> 地域生活支援拠点整備 Co 平野 幸代（ひらの さちよ）		<b>相談支援専門員</b> 村上 久登美（むらかみ ひとみ）
	<b>相談支援専門員</b> 相野田 智昭（あいのた ともあき）		<b>相談支援員</b> 精神障がい者地域生活支援 Co 宮沢 奈那江（みやざわ ななえ）
	<b>相談支援員</b> 埋橋 行雄（うずはし ゆきお）		<b>相談支援員</b> 矢花 尚利（やばな なおとし）
○療育チーム 障がいを持った児童や家族に寄り添い、安心して過ごせる為のお手伝いをします。			
	<b>療育 Co</b> 小池 美千世（こいけ みちよ）		<b>療育支援員（言語聴覚士）</b> 田中 舞（たなか まい）
○発達障がいサポートマネージャー 発達障がいに関わる支援者のお手伝いをしています。			
	<b>発達障がいサポートマネージャー</b> 松田 佳大（まつだ よしひろ）		
○上伊那圏域障がい者就業・生活支援センター 就職活動や就職後、継続しては働けるように支援します。			
	<b>主任就業支援ワーカー</b> 橋都 松夫（はしずめ まつお）		<b>就業支援ワーカー</b> 守屋 麻美（もりや あさみ）
	<b>就業支援ワーカー（定着支援）</b> 東松 多恵（とうまつ たえ）		<b>生活支援ワーカー</b> 内村 京江（うちむら たかえ）